

図 1 宿主哺乳類の好氣的エネルギー代謝と回虫成虫の低酸素エネルギー代謝

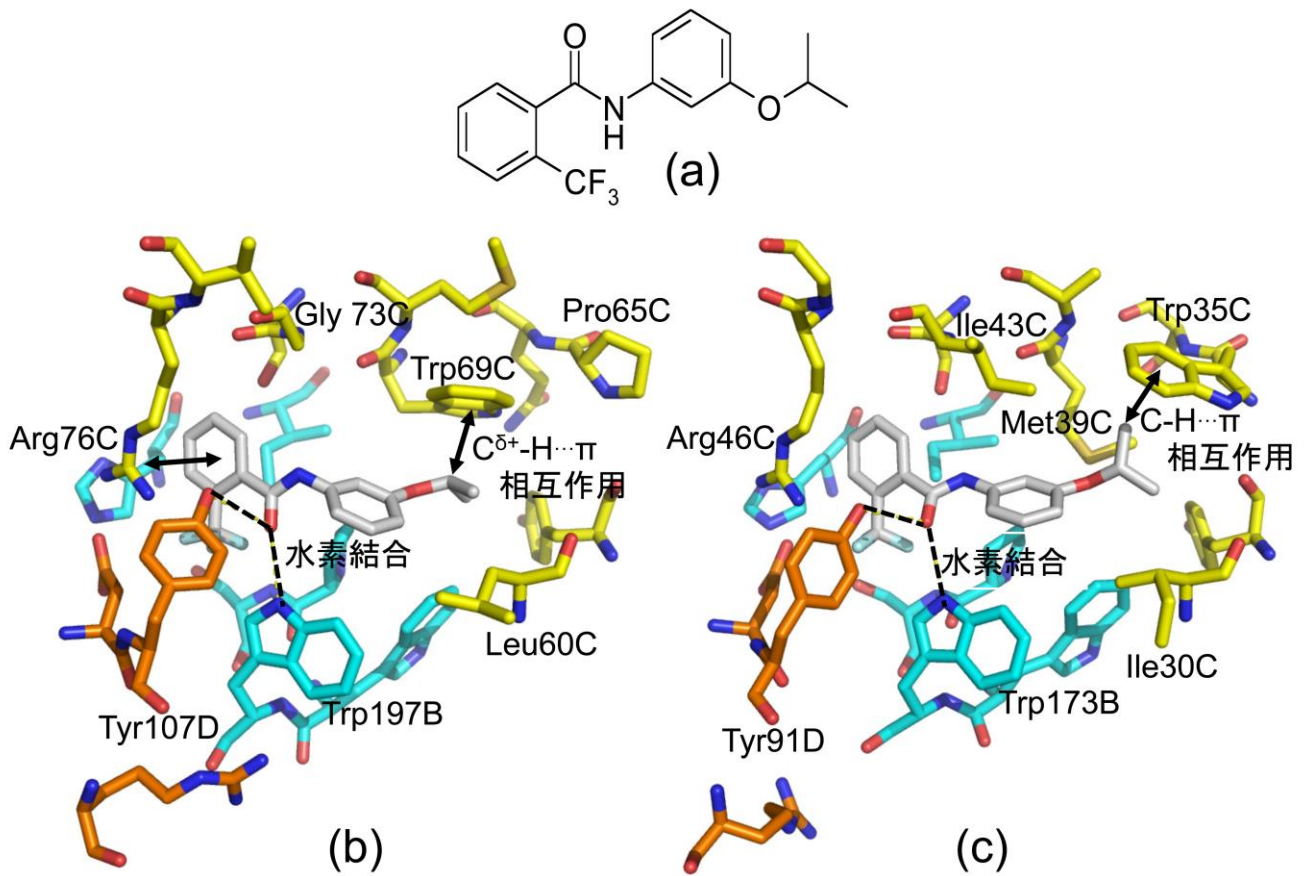
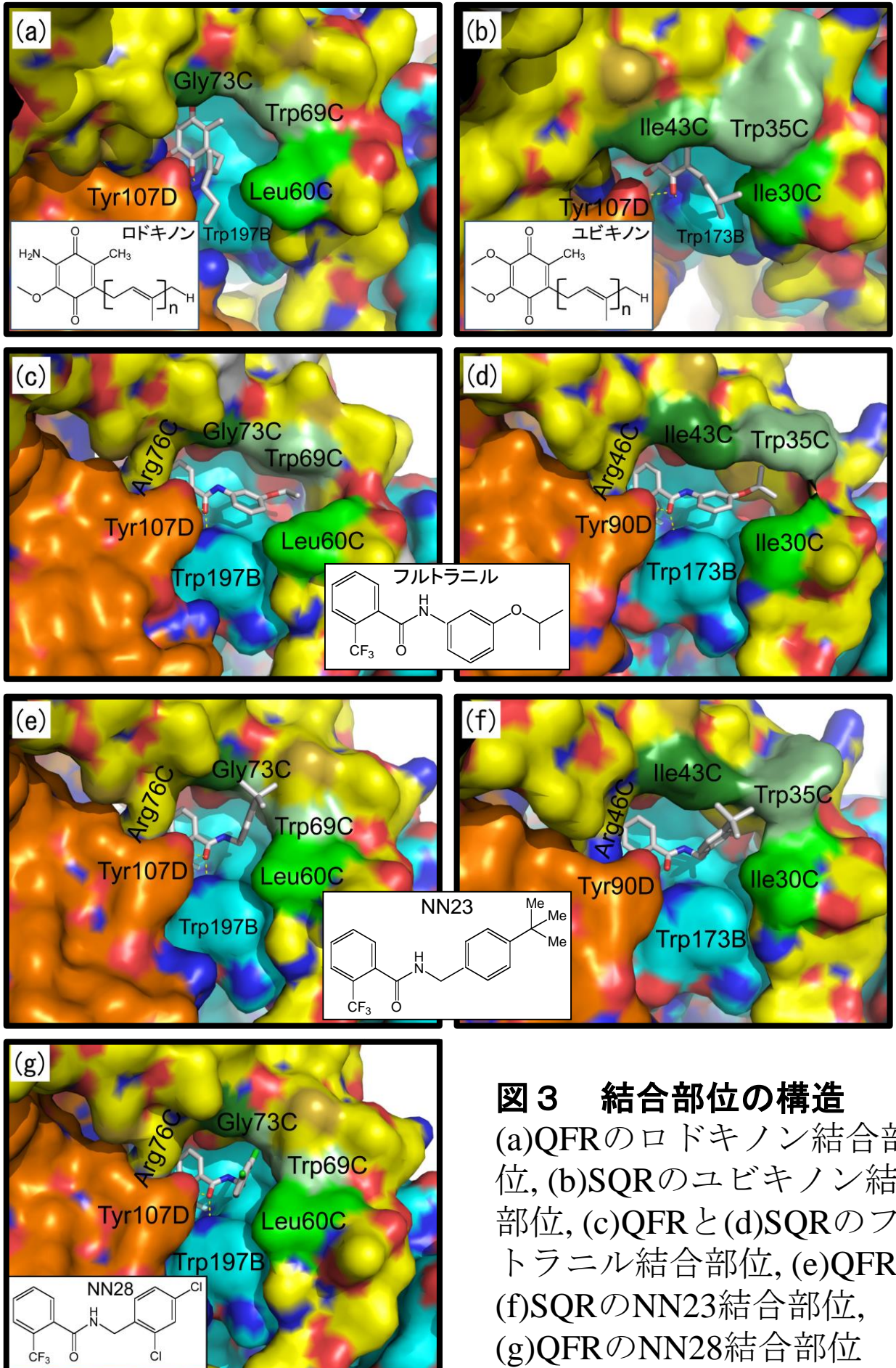


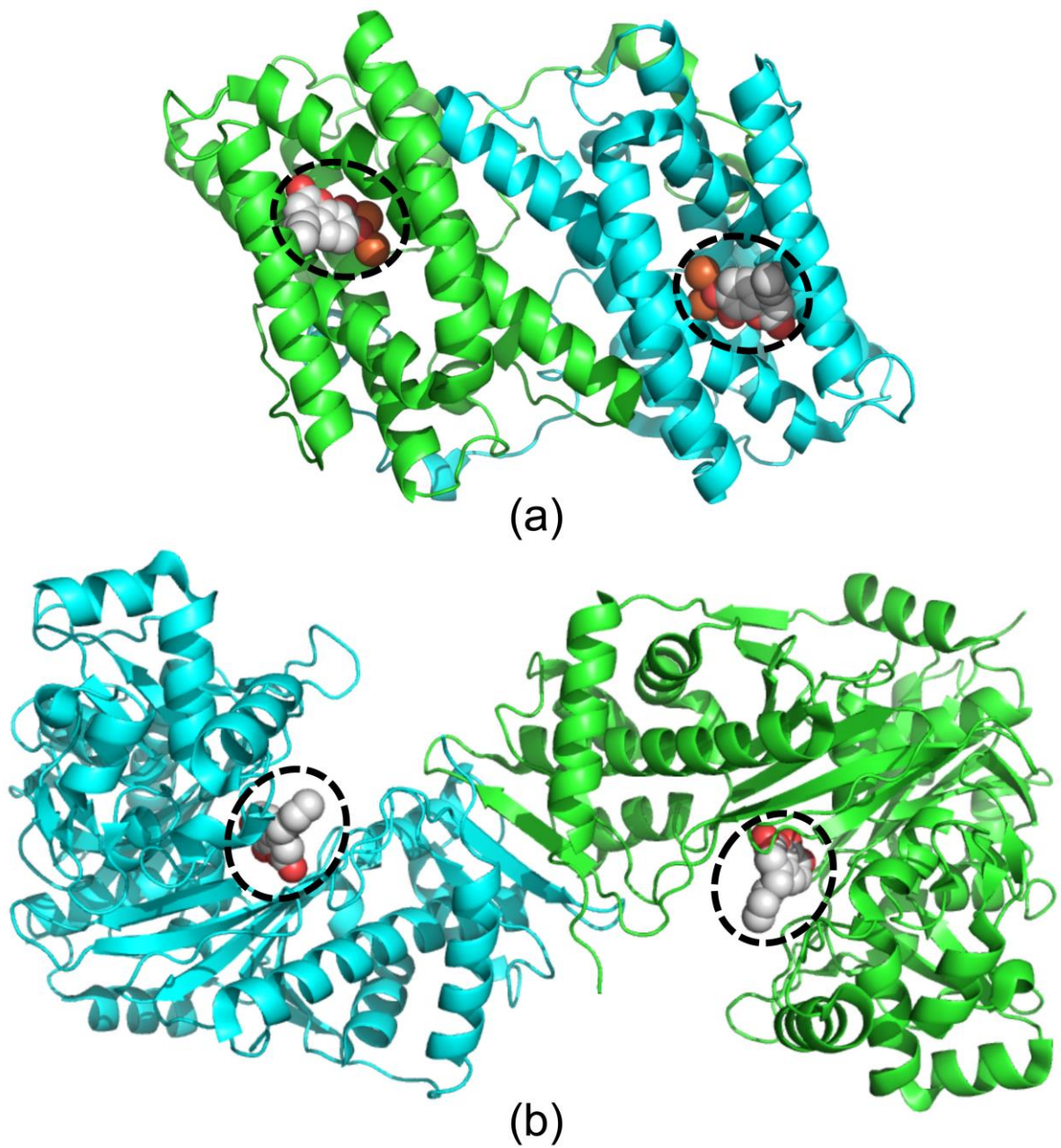
図2 (a) フルトラニルが (b) QFR および (c) SQR に結合した構造  
 残基名に記してある B, C, D は Ip, CybL, CybS サブユニットのアミノ酸残基であることを示す。



### 図3 結合部位の構造

(a)QFRのロドキノン結合部位, (b)SQRのユビキノン結合部位, (c)QFRと(d)SQRのフルトラニル結合部位, (e)QFRと(f)SQRのNN23結合部位, (g)QFRのNN28結合部位





#### 図4 阻害剤との複合体構造

TAOとGK両方を阻害できる阻害剤と(a) TAO, (b) GKとの複合体構造. これらの酵素は2量体で存在する. 酵素に結合している阻害剤は点線で囲ってある.